

平成30年度の重点テーマについて

子どもは地域の宝であり、本県の将来を担う大切な財産です。県内では、子どもが対象となった刑法犯認知件数が増加に転じているうえ、性犯罪等の前兆事案である声かけ事案等の発生件数も年々増加しています。引き続き県民の皆さんで「子どもを守る」という共通認識を持ち、それぞれの地域での見守り活動を進める必要があります。

高齢化が進む本県では、交通事故、特殊詐欺や悪質商法などの犯罪被害に遭う高齢者が後を絶ちません。これらの被害を防ぐため、自主防犯ボランティアなどによる訪問活動などが行われています。こうした活動の輪を県内全域に広げ、一層充実させていくことが重要です。

乗り物盗や車上ねらい事件は、その多くが鍵をかけていない状態で被害に遭っています。また、住宅をねらった侵入盗被害についても、無締まり箇所から侵入される被害が目立ちます。「鍵かけ」といった基本的な防犯対策を通して「自らの安全を自らで守る」意識を高めてもらうことが必要です。

振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は、県内の被害総額は1億円を下回ったものの、被害件数は増加し、高齢者だけでなく若い世代にも被害が広がっていることから、被害の発生を防ぐために、従来よりも幅広く各年齢層を対象とした取組を実施することが必要です。

以上のことから、平成30年度の重点テーマを次のとおり定めます。

重点テーマ

地域で子どもを見守ろう

高齢者などを事故や事件から守ろう

鍵かけ運動を進めよう

特殊詐欺の被害を防ごう